

平野区

◆結成年月日 昭和49年10月1日
◆単位数 2
◆会員数 300名

地域の諸団体と共に住みよい町造りに協力しよう

平野区地域女性団体協議会は地域行事、サマーフェスティバル等の催しに参加し地域の様々な団体との交流や親睦を深めています。また、学習活動として女性学級や女性のつどいを開き、暮らしの中で身近な問題を取り上げ学んでいます。最近は地域の絆が弱くなっていますが、私たちは女性会の活動を通じて会員相互が深いつながりで結びあい、楽しい会でありたいと願っています。会は小さくても、地域に根ざした存在でありたいという強い思いで活動しています。



西成区

◆結成年月日 昭和21年10月7日
◆単位数 2
◆会員数 300名

好奇心をもって物事を見てみよう

昭和21年10月の結成時は13単位より構成されていましたが、7単位、3単位となっていました。しかし、単位は少なくとも熱意は大きくあります。区民まつりでは手作り作品やポップコーン、ジュースの販売と、毎年地域の人たちは女性会のブースを楽しみにしています。私たちは黄色いジャンパーで女性会のアピールです。その他、ネットワーク活動、100円喫茶、食事サービス、26号線の清掃活動で地域に参加しています。古い民家が多いため、去年は消防署で火災のシミュレーションをして学びました。今年度も料理や西成区の歴史、郊外学習を企画しています。地域の人たちと共に女性会

は女性の地位向上をはかり、若い人たちにも進んで参加してもらうように働きかけていきます。



まさかの高額賠償、備えは大丈夫？

新型 自転車補償プランなら 年額3,200円で

- ① 高額賠償も国内 **無制限** 補償
- ② 相手への補償は自転車以外の **日常の事故** も対象
- ③ 自分のおケガは**入院 通院 1日目**から保障（14日以上のおケガが対象）

詳細についてはパンフレットをご覧ください。

取扱代理店
団体契約者
資料のご請求
お問い合わせは

大阪市民共済生活協同組合

0120-866-844 ☎ 06-6203-7073
平日9:00~17:30

引受保険会社
東京海上日動火災保険株式会社
関西公務金融部 大阪公務課

・自転車補償プランとは交通災害共済と個人賠償責任補償特約（団体総合生活保険）のセットプランのことをいいます。
 ・年額3,200円（交通災害2,000円+個人賠償1,200円）はプランの一例であり、ご加入にあたっては必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。 2017年1月作成 16-T21460

大阪市女性会だより ～地域で輝く女性会～

2017



まちが輝き 私たちも共に輝くために

大阪市地域女性団体協議会会長 矢田貝 喜佐枝

大阪市地域女性団体協議会は今年で設立から68年を迎えます。一昨年の戦後70年を契機に、平和を支えるのは私たち女性であり、青少年の健全育成、男女共同参画は私たちの使命であるという思いをあらたに、日々の活動に取り組んでおります。

はじめに、4月の熊本地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。私ども市女性会では、会員の皆様から、総額100万円を超える志を集めることができました。これらの寄付金は全国女性会館協議会を通じて、熊本の皆様のために使われることとなります。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、今年度から8月が「大阪市ワーク・ライフ・バランス推進月間」と定められました。これは、女性の様々な分野での活躍と、男性も家庭や地域生活などにおいても活躍して役割を果たしていくことをめざして、特に家族と一緒に過ごす時間が多くなる8月を推進月間とし、さまざまな取組をしていこうというものです。私ども市女性会は、「大阪女性きらめき応援会議」の一員として、大阪市と共同して取組を行っていく役割を担っており、ワーク・ライフ・バランスの理念について地域の方に知っていただくため、各区の女性会の行事において啓発ちらしを配布しました。

1月には、各区の成人式でデートDVについての啓発ちらしを配布しました。

このように積極的に活動をおこなっている一方で、日頃の私たちの地道な活動をもっと多くの方に知っていただきたいという意見が、理事や会員の中から出てまいりました。そうした声により、今回このリーフレットを発行する運びとなりました。

ました。タイトルの「地域で輝く女性会」には、私たちの活動がまちを明るく輝かせ、私たち女性会もさらに輝くことができるようにとの思いをこめています。今後はホームページをはじめ、これまで以上に広報に力を入れてまいりますので、引き続き皆様のご理解ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆市女性会の活動（平成28年度）

4月	役員改選
5月	総会、「ごみゼロの日」市内一斉清掃
6月	「大阪市ワーク・ライフ・バランス推進月間」啓発チラシ配布（各区区民まつり）（～9月）
8月	「男女共同参画週間」啓発キャンペーン（大阪市役所前）
9月	「全国一斉複十字シール運動キャンペーン」（JR天王寺駅）
10月	大阪市女性大会、「大阪マラソングリーンアップ作戦」清掃活動（市内3か所）、夕陽丘バザー
11月	夕陽丘基金講演会、DV防止啓発活動（あべのキューズモール）、全国女性会館協議会 第60回全国大会（クレオ大阪中央）
1月	各区「成人の日記念のつどい」デートDV防止啓発チラシ配布、新年互礼会
2月	「大阪市女性会だより」発行
3月	研究大会

仕事×家庭×私＝笑顔ある暮らし

大阪市ワーク・ライフ・バランス推進月間

市女性会は、ワーク・ライフ・バランスを推進しています！

ワーク・ライフ・バランスとは、年齢や性別等にかかわらず、誰もが、「やりがいを感じながら働く時間」と「家族とともに過ごす時間」「自分自身の趣味や地域活動を楽しむ時間」を調和させることです。それは、個人の生き方を見直し、「仕事」も「家庭」も「私」もより充実したものにするという考え方です。
 ワーク・ライフ・バランスを進めることで、地域活動など仕事以外の経験が「仕事」に役立つ、「仕事」がうまいく、「私」が楽しい、「家庭」が明るくなるなど、よい影響を与え合い、暮らしが豊かになります。
 皆さんもワーク・ライフ・バランスを推進し、積極的に地域活動へ参加しましょう！

男女共同参画コラム

「ガラスの天井」

ガラスの天井という言葉聞いたことがありますか？女性やマイノリティの地位向上を阻む見えない障壁（天井）のことを例えた言葉です。先の米国大統領選でヒラリーさんが「私たちはいまだ高いガラスの天井を打ち砕くことができていない」と述べたのも記憶に新しいところです。

さて、日本はどうでしょうか？国の最重要課題の一つは、「すべての女性が輝く社会づくり」であり、女性のエンパワーメント、活躍促進のための取組が進められています。しかし、世界の中の日本を見ますと、男女の格差を表す男女平等指数ランキングで、日本は111位とG7最下位と言う大変残念な結果でした。（2016年10月世界経済フォーラム調べ）

この調査は、世界各国の男女格差について、①経済活動への参加と機会 ②政治への参加 ③教育 ④健康と生存率の項目ごとに数値化して順位を決めたものです。日本の評価が低い原因として、経済と政治の

分野における女性の進出が著しく遅れていることが影響しています。日本においてもガラスの天井は相当高く厚いものだあと実感します。しかし、大阪では市民主導により社会を創っていこうという気風があります。特に大阪の女性は、チャレンジ精神とおせっかい気質！？にあふれています。



左の写真はあべのキューズモールでの街頭啓発風景です。私たちと一緒にDV防止のコピーの付いたアメちゃんを配りましたが、コンセプトは、「大阪のおばちゃんアメちゃんコミュニケーションで広げる男女共同参画の輪」でした。

ガラスの天井は厚くとも、少しづつひびを入れていくために、女性会の皆様をはじめ大阪の女性、そして男性と共に、飽くことなく、諦めることなく取り組んでいきたいと思ひます。

共に行動していきましょう！

都島区

◆結成年月日 昭和26年9月1日
◆単位数 1
◆会員数 60名

女性ならではの「まなざし」と「力」を活かして、地域に広く深く

南部には、一日に50万人以上もの乗降客があると言われる京橋駅を中心に繁華街が広がる一方で、北中部には高層マンション等、子育て世代の多い集合住宅が林立する都島区。この伸びしろ豊かな街で、都島区女性会は、若い世代と団塊・高齢者世代との繋がりを深めるべく、活動に取り組んでいます。まず、柱となるのは「女性学習会」です。「快適な生活を求めて」等の年間テーマを掲げて開催。また、都島区社会福祉協議会の「善意銀行払出事業」として、エコバッグ作りの集いや町の美化等の活動を行っています。その他「都島区民まつり」への模擬店参加や「成人の日のつどい」における装室とお茶

席のお手伝い、都島区社会福祉協議会の「包括委員会」や「敬老大会」、「都島警察署協議会」や「都島区未来わがまちビジョン推進会議」等々、都島区が展開する種々の活動に参加しています。これからも活動の一層の充実を図り、地域の世代間交流・住民交流の一助となれるよう、歩んでまいりたいと考えています。



福島区

◆結成年月日 昭和24年5月20日
◆単位数 10
◆会員数 5,709名

めざせ、充実し魅力ある女性会に！

福島区は高層マンションの建設ラッシュが続き、大幅な人口増加を招いていますが、それがストレートに地域や区の充実につながっていません。マンション住民を如何にして動かし、地域振興会や女性会と協働して「安全で安心、住み良いまちづくり」に結び付けていくのか、そうした取り組みを図ることが私たち女性会に課せられた大きな課題だと思っています。課題を解決するために女性会はどうすればよいか……。学習活動を通じて女性の地位向上を図り、新たな会員の獲得、つまり若い世代が参加したくなる女性会の取り組みやあり方を示さなくてはなりません。新たな取り組みとしての中学生と合

同士の防災訓練の実施や高齢者を対象にした地域福祉活動、さらに「CO2の削減と世界のこどもたちにワクチンを届ける」エコキャップ活動を引き続き取り組み、今後も新しい活動を取り入れながら、女性会がますます魅力ある組織になれるよう頑張ります。



10月15日 野田中学校との防災訓練の様子

此花区

◆結成年月日 昭和27年4月1日
◆単位数 1
◆会員数 200名

積極的に取り組む精神

此花区地域女性団体協議会は、歴代会長並びに役員の方々のご尽力、会員の皆様のご協力により、平成29年には、結成65周年を迎えます。区女性会の学習会では、「温故知新」を学ぶ事で、原点に返り足元を見つめ直す良い機会となりました。長年の学習と実践の活動は、地域との結びつきも固くなった事と思います。街の美化運動、一斉清掃、緑化の推進、ゴミの分別、防災対策等、女性会員同士が切磋琢磨しあって、成果が出ているのではないかと思います。活動においては、男女共同参画の啓発講演会、地域行事への参画も積極的に取り組んでおり、この精神を次世代の人たちに伝える事の大切さを痛

感しています。これからも、多様化する社会の中で、男女共同参画を基本に、地域から愛され頼られる女性会として、各種団体の方たちと連携を図りながら住みよい町づくりに協力したいと考えております。



中央区

◆結成年月日 平成元年4月1日（東区と南区が合区）旧南区結成：昭和24年12月 旧東区結成：昭和25年11月
◆単位数 12
◆会員数 1,579名

時代と共に歩む女性会

時代と共に変化する課題と向き合い、男女共同参画社会の実現のため、中央区女性会では女性学習会と男女きらめきのつどいを大きな2本柱として、学習活動を行っています。学習で習得した知識や教養を日々の暮らしに役立て、地域のリーダーとして活躍しています。各地域においても、学習に取り組み、「過去の経験や知識」だけでなく、新しい知識の習得に努め、正しい判断力を養っています。また、「中央区民まつり」や「区民盆おどり大会」などのコミュニティ事業への運営協力や「ふれあい食事サービス」など日々の生活に根ざした活動を地域の各種団体と連携して行っています。このような活

動の一つ一つが地域でのつながりを生み、コミュニティが広がり、中央区女性会が地域において必要不可欠な存在となっています。今後は、若い方にも積極的に女性会活動に参加していただけるよう地域で呼びかけを行い、未来につながる中央区女性会として力を尽くしていきます。



写真は「区長を囲む会」の様子

西区

◆結成年月日 昭和26年1月1日
◆単位数 14
◆会員数 1,587名

次世代へつなぐ学びの場

大阪市の中でも城東区につぐ単位数を誇る西区地域女性団体協議会ですが、年々高齢化が大きな課題の一つとなっています。そこで、今年から会の主要な柱の一つである学習会をこれまでの座学中心からワークショップ形式主体の魅力あるものへと転換しました。多世代の女性たちを繋ぐ一助となることを願っています。また、これまでのように区民まつり（体育と防災の集い、健康の集い、文化の集い）にも積極的に参加しています。特に、成人式でのお抹茶席は大人への第一歩を踏み出す新成人の方々にお手伝いさせて頂くという自負を持って開催させてもらっています。

そして、我が区の女性会活動を区内に広くアピールするために独自の広報紙『ウエストウーマン』を発刊しています。さあ、次世代へつなぐ学びの場としてこれからも頑張っていきたいと思います。



港区

◆結成年月日 昭和25年3月26日
◆単位数 10
◆会員数 1,340名

地域に根ざし、安心安全な町づくりを！

港区地域女性団体協議会は、結成以来、女性の教養、生活、地位向上をめざし、福祉委員会や社会活動委員会、生活問題委員会など7つの専門委員会がそれぞれ創意工夫をしながら実施活動を進めております。平成27年度の女性学級では「区制90年、戦後70年」において、昭和18年当時、市内最大の区であった港区が、戦災と台風で二重の苦しみに見舞われたことを学びました。しかし、現在は世界最大級的水族館である海遊館や市立中央体育館などに国内外から多数の方が来阪されており、女性会では町の美化活動を積極的に進め、ターミナルや公園等の清掃や市の一斉清掃にも参加し、美しい町づくりに努

めています。福祉委員会では、長年港区医師会の協力を得て健康教室を開催し、参加者にとっては有意義で好評な健康教室です。また、社会活動委員会では警察署と一緒に交通安全とオレオレ詐欺についての講演会を行っています。これからも地域の諸団体との連携を深め、会員相互の交流を深めながら、私達も自らの学習で得た知識を地域社会に還元し、よりよい町づくりに貢献していきたいと思っています。



写真は社会活動委員会 港警察署による講演会より

大正区

◆結成年月日 昭和26年12月1日
◆単位数 10
◆会員数 1,837名

地域に根ざし、地道に女性活動を

私たち大正区地域女性団体協議会は、地域に根ざし、地道な女性会活動をテーマに「住みよい、住んでみたい町」をめざして、学習活動をはじめ地域活動に積極的に取り組んでおります。学習活動の原点となる学習会では、健康、環境、防災、文化、人権、青少年問題などの課題をテーマとして、自主的運営を行い、町の清掃、花植えなどのまちを明るくする活動、生涯学習フェスティバルの参加など、地域活動にも参加しています。市女性会の研修旅行には200余名の参加があり、また、区民まつりでは、総勢200名の総踊りやお茶席などを設け、会員相互の交流と親睦を図っています。その他、地域団体と連

携し、放置自転車対策キャンペーン、春・秋の全国交通安全運動などにも参加し、福祉、防災問題などをともに考え協力しています。防災は、近い将来の大地震の危機管理の必要性により、特に力を入れています。女性会も、時代と共に変わりつつありますが、10単位一丸となって、女性会としての責務を果たすべく努力をしていきたいと思っています。



天王寺区

◆結成年月日 昭和22年1月21日
◆単位数 6
◆会員数 943名

伝えよう緑の街 伝えよう歴史と文化

天王寺区は、東部には難波宮から飛鳥に通じる日本最古の国道「竹内街道」、西部の下寺町は豊かな緑と寺院が多く、聖徳太子建立の四天王寺は、中心部の上町筋を通る「熊野街道」にあり、歴史と文化をつなぐ中心に存在しています。和の精神をもとに女性会は、地域との連携を軸に公園の掃除、ふれあい花壇、「お茶席」等、ボランティア活動を通じて会員相互の理解と親睦をはかっています。今年度は「環境そしてエコな暮らし」というテーマで学習活動をしています。第一回は吹田市資源リサイクルセンター見学、第二回は『「ネパールの風景と心を癒すネパールの調べ」 Bansuri (笛) の音色』

と題し、ネパールの演奏家ラム・マハラジャン氏の演奏を楽しみました。第三回は郊外学習「湧水の恵みと暮らす針江・生水の郷」を訪ねます。今後は「電力自由化」「落語で環境」等を企画し、未来に続く自然環境を維持できることを考え、心の癒しや楽しみの中でエコを学びたいと思います。



西淀川区

◆結成年月日 昭和23年12月4日
◆単位数 1
◆会員数 85名

西淀川区女性団体協議会の歩み

西淀川区地域女性団体協議会は、今年で結成69年を迎えようとしています。これもひとえに先輩諸姉の努力の賜物であろうと思います。こうした弛まぬ努力により今日まで続けて来ることができましたことは、私たち会員一同の喜びです。主だった活動内容として、理事会を毎月1回開催しています。また女性の地位・教養の向上及び地域で活躍する女性リーダー養成のための女性学習会を年に4～5回開催、区役所と連携した活動として実施しています。区民まつりにおいてのテント出店、大阪市が実施する「打ち水大作戦」の事業協力、庁舎まわり清掃、区の「憩いの花壇」事業の管理運営等の活動を行って

おります。女性会も会員の高齢化など大きな変動をしましたが、私たちは結成当時の趣旨を忘れることなく男女共同参画社会、女性のつどい、学習会などの取り組みを進めると共に他団体と連携をはかりながら地域に根ざした女性団体として会員一同これからも努力してまいります。



「打ち水大作戦」

淀川区

◆結成年月日 昭和49年7月22日
◆単位数 12
◆会員数 15,000名

区・環境美化、災害につよい淀川区をめざす女性会～美化活動・打ち水作戦より～

淀川区女性会の社会活動委員会は、毎月1日に区役所周辺・十三駅周辺・旧区役所の中の清掃活動を行っています。各単位から1人ずつと会長、副会長、社会活動委員8人の総勢22人～23人が区役所に集まり、白い割烹着に啓発のタスキをかけ、10時～11時過ぎまで行っています。9月1日は区役所の方々のお手伝いもあって打ち水作戦を実施しました。暑い日だったので区役所周辺をバケツで水を撒いたところ、その時だけは風が吹いてひんやりとして涼しく感じましたが、すぐに道路が乾いてしまいました。何度も何度も水を撒いてようやく気分的に涼しくなったようで、会員も満足して笑顔で終わりました。



写真は「打ち水大作戦」(9月1日)

区民センターの玄関には、区民まつりにあわせ区役所より提供してもらったケイトウとサルビアなどを植えました。また、コミュニティ学習会では防災の勉強を毎年実施しています。

東淀川区

◆結成年月日 昭和32年5月15日
◆単位数 4
◆会員数 850名

ふれあいを大切に 明るく美しい町 東淀川

女性の教養や生活の向上をめざし、女性学習会・子育て支援・喫茶・高齢者食事サービス・町の環境美化運動・防災など、学習と実践を積み重ねてきました。また、区や地域の他の団体の行事にも積極的に参加し、コミュニティづくり推進の一端を担っています。学習活動の基盤である区女性学習会・単位女性学習会(大隅連合・東淡路・淡路・西淡路)では、日常生活の身近な問題をテーマとし、多彩な学習を行い、会員の自己研鑽や生きがいづくり、並びに地域リーダーの養成を図っています。今後、区女性会としては、会員の高齢化・会員数の減少などの問題はありますが、東淀川区の花「こぶし」の花

言葉「友情・友愛」をモットーとして、会員相互の結束をより一層固め、さらに充実した女性会活動に取り組んで行きたいと思います。



東成区

◆結成年月日 昭和25年11月30日
◆単位数 11
◆会員数 1,380名

魅力ある女性をめざして！

東成区では、毎年11月第一土曜日に、「ふれあい広場」と称し、東成区民センターにおいて種々の催しが開催されます。今年のテーマは「みとめあい ささえつなごう ところのわ」。たくさんの方と出会い、たくさんの「わ」を作ろう、という願いをこめて作られました。「ふれあい喫茶」では薫り高いコーヒー・紅茶、そしてジュースを各50円にて販売。売上金はすべて被災地に義援金として贈られます。他にも多種多様な催しが開かれますが、中でも、東成区女性会11団体のうち9団体が参加し、腕によりをかけた手づくりのお弁当(1単位60食 300円にて販売)は、いつも、みるみるうちに完売です。

また、平成16年4月から月2回、「東成区地域女性団体協議会コーラス部 コーロ・ヴィーナス東成」が活動をしています。現在25名ほどのメンバーが、東成区の諸団体の行事などから要請をいただき、出演しています。東成区女性学習会は、年間4回開催されます。年間テーマは「人とのつながりの中で、魅力ある女性をめざして！」です。毎回楽しく学習しています。



生野区

◆結成年月日 昭和24年10月21日
◆単位数 4
◆会員数 636名

いきいき 輝き 楽しく 学習 交流

昭和32年に寄贈した「みおつくしの鐘」が 現在も区役所6階光庭に設置されていて、毎年「成人の日」には新成人による打鐘が行われています。福祉活動の一環として昭和26年より毎年「一日里親」の取り組みを行っており、区内の養護施設の子どもたちと女性会会員がテーマパークや動物園等に出かけて楽しい一日を過ごしています。また、施設のクリスマス会にも参加して交流を深めています。地域美化運動として区内一斉清掃、区民センター前の花の植え替えは続けています。区民まつり（生野まつり）にもバザーで参加協力しています。会員の皆さんからの石鹸、タオル、手作り小物を販売します。

今年3回目になりますが、生野区で生まれたスポーツ「スリーアイズ大会」を区スポーツ推進委員の皆さんのご協力をお願いして開催しています。選手4単位40名と応援も含めて50名以上が一緒になって地域交流と親睦を重ねています。＊私共女性会は部会制にしています＊



総務、広報、事業、学習で理事がそれぞれに所属して立案、実行しています。また、事務局を理事1名が担当しています。

旭区

◆結成年月日 昭和24年4月1日
◆単位数 2
◆会員数 501名

人と人のつながりを大切にし、よりよい町づくりをめざして

旭区地域女性団体協議会は、昭和24年結成当時の7単位から時代の変化や高齢化などに伴い徐々に減少し、今現在は2単位で活動が続けております。旭区役所玄関前のフラワースポットの植え替えや、毎年行われる交通安全の啓発活動や赤十字の街頭募金活動の協力、青少年育成推進の街頭啓発など区内の諸団体と協働し、安心安全な町づくりの一翼を担っています。女性会の事業の中心である学習会では、区と地域それぞれが時宜に適したテーマを掲げ、充実した内容で活動を展開しています。平成27年度は、旭区民センターにて3つのテーマの講演会「交通安全講習会」「心と身体のほぐし方」「めざそ

う！健康長寿」と滋賀県近江八幡方面への郊外学習の計4回学習会を行いました。また、旭区最大の行事である旭区民まつりでは、会員の皆さんから提供された品物でバザーを開催しており、毎年とても盛況です。これからも時代や社会の変化に対応しながら、私たちにできる事をみんなで協力し、地域に根ざした活動を積極的に推進していきたいと考えています。



城東区

◆結成年月日 昭和24年4月1日
◆単位数 16
◆会員数 1,970名

安心・安全な街に～あなたとあなたの大切な人を守るために～

平成26年より、政治活動・青少年活動を統合、新たに広報委員会を加え、また28年度より福祉活動・政治活動、生活問題・社会活動をそれぞれ1つにまとめ4つの専門委員会として活動しています。広報委員会では、広報紙「コスモ通信」を年2回発行しています（今年度は第5、6号を発行する予定）。学習活動専門委員会では、区の学級はもちろんのこと、16単位すべてが年3～6回の地域学級を開催し、2月には合同発表大会にて実施報告、情報交換などしています。地域の催しでは、区民まつりでのバザー出店、SARUGAKU祭では民謡総踊りに参加。くらしの学習会年1回の開催など、活発に活動しています。



女性会の店 バザー（城東区民まつりにて 8月27日）

鶴見区

◆結成年月日 昭和49年7月22日
◆単位数 12
◆会員数 5,980名

地域社会での男女共同参画推進の活動

鶴見区女性団体協議会は、昭和49年7月に城東区から分区による鶴見区誕生と同時に結成され、今年42年目を迎えました。「鶴見区女性団体協議会」では、地域活動においての「男女共同参画社会推進活動」を念頭に置き、地域女性のリーダー養成を目的とした「女性学習会」を活動の中心に、意欲的に取り組んでいます。学習内容は、少子高齢化社会での日常生活のあり方、女性を取り巻く様々な問題の解決などです。また、地域と一体となったまちづくりの一端を担い、「ひったくり防止カバーの取り付け」、「女性防火クラブ」、「高齢者の見守り活動」、「高齢者の食事サービス」の提供、種から花を育てる

「種花活動」など、まちの美化のためのボランティア活動にも中心的な役割を担うなど、鶴見区内の諸行事に協力し、豊かな地域コミュニティづくりに向けて活動の場を広げています。また、地域の諸団体との連携にも潤滑油的な役割を果たすよう心掛けて、女性目線での住みよいまちづくりをめざしています。



阿倍野区

◆結成年月日 昭和24年12月2日
◆単位数 6
◆会員数 930名

地域は安心・安全で共生し住んでいてよかったと思う町をめざして

女性会は教養や地位向上をめざした学習活動に取り組んでいます。毎年学習会を開催し、閉講式には各地域で学習した事を発表しております。「男女共同参画講演会」で、家庭は「奥さんが笑って、夫が従う家庭は円満である」と話して頂いたり、市民局の山脇課長に「男女共同参画について」講演をして頂きました。また、薬についての講演をお聴きしたり、水の都大阪の「水門めぐり」をしたり、ゴミ分別収集のため、環境局から講師を招き勉強しました。区の「男女きらめきのつどい」では、元阪神タイガースの掛布雅之さんの講演で「選手はコツコツと自分が頑張っていると、チャンスが来て使って貰

える。何事も頑張りが大切」というお話が、女性会の活動のようで、とても印象的でした。環境局からはフラワースポットで年3回花を頂きますが、区役所玄関に植え、来館される方に和んでいただけるようにしています。毎月1日は各地域の清掃活動をし、年1回の「あべのカーニバル」ではバザー出店をし、一部を夕陽丘募金に協力しています。各地区で重責を担い活動しています。



住之江区

◆結成年月日 昭和47年8月
◆単位数 2
◆会員数 450名

地域より 育てよう えがおの和

我が会は、昭和49年7月に住吉区が分区され新たに住之江区婦人団体協議会として発足しました。これまでも女性の地位・教養の向上、明るく住みよい地域社会づくり、会員相互の親睦を目的として活動してきましたが、



平成13年7月に「住之江区地域女性団体協議会」と名称を変更し、現在2単位にて活動を行っています。女性学習会では、役員により結成された運営委員会にて協議を重ね、

年間テーマに工夫を凝らし開講しています。また、区民まつりや子育て応援イベントなどでは、区の花「さざんか」をモチーフとしたマスコットキャラクターに似せた風船をゲストと一緒に作成する催しを行っています。さらには、「男女きらめきのつどい」と称して年1回、コンサートや講演、映画上映などを開催しています。今後も、学習と実践を通じて自己を確立し、時代に即した幅広い活動を更なる工夫と努力により頑張っていきたいと考えています。